



News release

2013年3月11日(月)

<機材協力>

スカパーJSAT(株) 2回目の衛星を使用した4K映像のライブ伝送実験を実施

～Jリーグ生中継を4K映像で実現～

デジタルビデオ機器の専門メーカーアストロデザイン株式会社(本社:東京都大田区 鈴木茂昭社長)は、スカパーJSAT 株式会社が、3月9日に衛星を使用したJリーグ生中継の4K映像伝送実験に4K関連の機材協力を致しました。

スカパーJSATは、2回にわたる伝送実験を通じて、4K映像による新たな映像表現の広がり確信しています。今回の実験では、カメラを5台から7台に増やし、4Kのスーパー slows映像を使うことで、より本格的なサッカー中継に取組みました。従来のハイビジョン映像に、遠景の美しさ、臨場感・奥行き感が加わった4K映像の魅力を確認することができ、サッカーならではの選手の瞬間的な動きや表情も鮮明に映し出すことができました。

4Kを取り巻く環境は急速に変化しており、総務省の「放送サービスの高度化に関する検討会」では、スーパーハイビジョン(4K・8K)の放送サービス早期普及に向けた取組みが検討されています。衛星を使用した伝送は、衛星送信車載局からの伝送など、場所を選ばないリアルタイム4K映像等の高伝送速度を要する中継が可能です。スポーツをはじめとする各種イベントの劇場配信などの“高画質かつLIVE”が求められる市場に向けて強力なソリューションとなります。

～スカパーJSAT(株) ニュースリリースから～

協力機材

撮影制作側機材

- ・4K カメラコントロールユニット (C500 RAW 現像装置) HB-7513, RB-7513
- ・4K カメラシステム AH-4413, AP-4414, AM-4412
- ・4K SSD レコーダ HR-7512-A
- ・スーパーハイビジョン SSD レコーダ SR-8422
- ・4K フレームメモリーボード GG-167-4K
- ・4K 9.6インチ LCD モニタ DM-3409
- ・17インチ 4K ウェブフォームモニタ WM-3207
- ・4K 32インチ液晶モニタ DM-3432

伝送機材

<送信側機材>

- ・MPEG2-TS マルチプレクサ CX-5528A-F

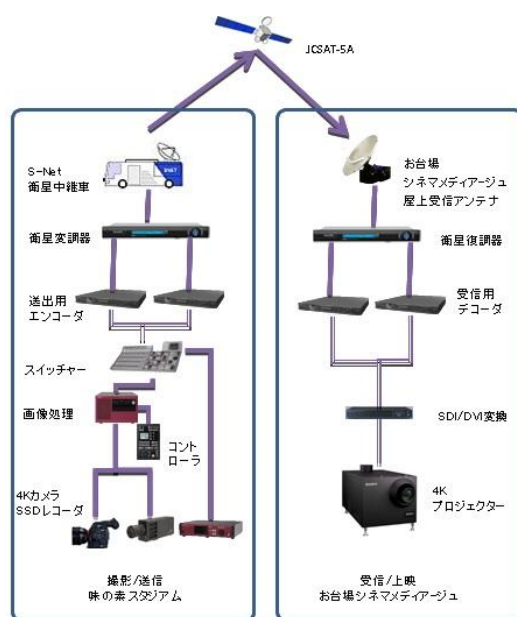
<受信側機材>

- ・4K 対応HD-SDI/DVI コンバータ SD-8203

■実験概要

- * 実験日
2013年3月9日 13:30~16:00
- * コンテンツ
2013 Jリーグ FC東京 vs 柏レイソル
- * 送信側
味の素スタジアム 衛星中継車 (東京都調布市) 1.3m アンテナ
- * 受信側
お台場シネマメディアージュ (東京都港区台場) 1.4m アンテナ
- * 衛星
JCSAT-5A 衛星
- * 利用周波数帯域幅:
35.8MHz
- * 利用変調方式/FEC レート
32APSK FEC 3/4
- * 回線容量
最大120Mbps
- * 映像圧縮符号化方式
H.264 | MPEG-4 AVC
- * 映像解像度 (水平×垂直) / 走査方式
3840×2160 / 59.94p

■システム構成



実験の詳細については、スカパーJSAT (株)ニュースリリースを参照お願いします。

http://www.sptvjsat.com/images/jp/news_release/2001/130309_4klive.pdf

[このリリースに関するお問い合わせ先]

〒145-0066 東京都大田区南雪谷1-5-2
アストロデザイン株式会社 第一営業部
Tel 03-5734-6301 Fax 03-5734-6104